

Mドライブを使ってデータを公開する方法

「Mドライブ」を使用すると、データをネット上に公開することができます^注。

この方法では、データに対応した URL を知っている人であれば、世界のどこにいてもデータをダウンロードできるようになります。この方法を用いて機密事項を含んだデータのやり取りを行うと漏洩の危険がありますが、これを利用することで他のドライブにある情報を危険に晒すことはありません。

目次

- I. 「myweb」フォルダを公開設定にする
- II. データをシェアする
- III. Mドライブを使うにあたって

I. 「myweb」フォルダを公開設定にする

1. Proselfにアクセスする

↓Proselfには以下のリンクよりアクセスできます↓

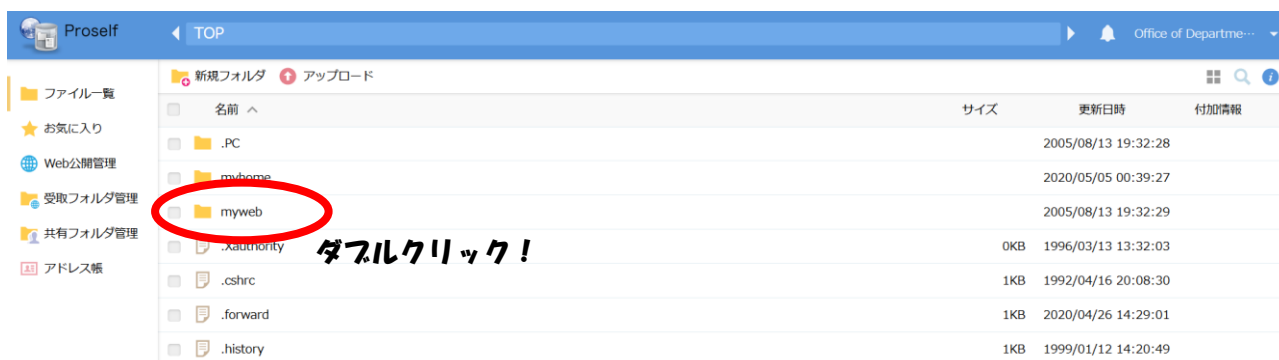
<https://fileservice15.cc.gakushuin.ac.jp/proself/>



2. ログインする

ユーザーID(教職員番号)とパスワードを入力するとログインできます。

3. 「myweb」フォルダを開く

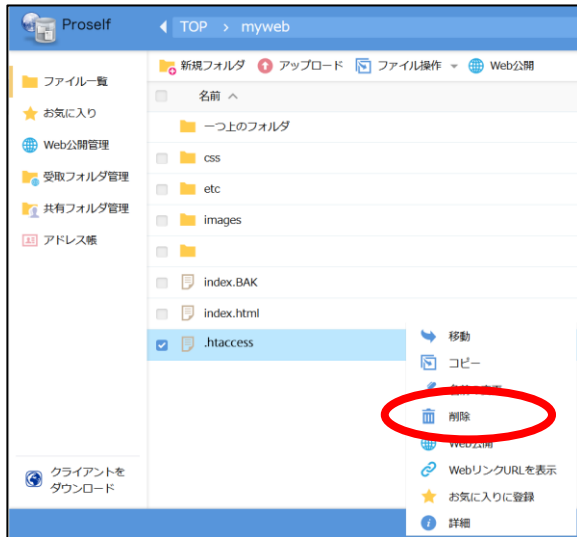


注 ここで紹介している手順にしたがってMドライブを公開設定にした場合、「myweb」内に保存されている情報は世界中の誰も見られる状態になっています。他人に見られては困るようなファイルはMドライブ(mywebフォルダ)内には保存しないようにしてください。

4. 「.htaccess」ファイルを削除する

「.htaccess」という名前のファイルを削除してください。

この操作によって、「myweb」内に保存されている情報は世界中の誰もが見られる状態になります。
(逆に言えば見ることができるようにしないと意味がないわけです。)



注意!

再び制限をかけるためには、
学内 PC での設定が必要となります。

←ファイル名を右クリック
すると画面がでます



II. データをシェアする

1. 公開したいデータの名称を適切なものに変更する

ファイル名には、半角英小文字・半角数字・ハイフン (-)・アンダーバー (_) が使用可能です。
ただしハイフンとアンダーバーを頭および末尾に使用することはできません。
上記以外の文字を使用した場合、ダウンロードが正常に行われなことがあります。

ご自身の管理用にはもちろん通常通り、使いやすい名称を使っていただいて構いません。
公開用には、元ファイルをコピーし、名称を上記のルールに則したものに变更して配置することをおすすめします。



2. 公開したいデータを「myweb」に保存する

保存したデータは即時公開されます。

3. URL を知らせる

メールなどで URL を伝えます。

URL は、<https://www-cc.gakushuin.ac.jp/~教職員番号/ファイル名> となります。

4. URL をブラウザで開くと、データをダウンロードできます

Ⅲ. Mドライブを使うにあたって

- ・公開したくないデータを「myweb」に保存しないよう、十分お気を付けください。
- ・教職員番号が URL に使用されます。
- ・Mドライブは非常勤講師の方もお使い頂けます。使用方法は変わりません。
- ・Mドライブの容量にも限りがあり、このような状況下において十分というわけではありません。ファイルの容量は、他の LMS 同様、なるべく小さいサイズになるようにお願いします。
- ・Mドライブはたくさんの人が同時にアクセスする前提では作られていません。特定の時間帯にアクセスが集中するような指示をすることはやはりなるべく避けてください。
(例：授業中に資料をダウンロードさせる、短い時間に限定して資料を公開する、など)